

平成29年10月3日(火)
国土交通省横浜国道事務所
横浜市道路局施設課

記者発表資料

生活道路の安全性向上のため、ハンプ等の 試行的設置による実証実験を行います

～大倉山三丁目(横浜市港北区)におけるビッグデータを活用した安全対策～

国土交通省横浜国道事務所と横浜市道路局が協力し、ビッグデータ(ETC2.0データ)から特定された速度超過や急ブレーキが多発する生活道路において、走行速度を低減させる実証実験(ハンプ等の試行的設置)を行います。

これは平成28年度に地域のみなさまとPTA、警察、国土交通省、横浜市が連携し発足した「大倉山三丁目地区 車両速度抑制対策検討会」における取り組みです。

今回、国土交通省が提供する仮設ハンプを使用した実証実験の取組は、神奈川県内で初めての実施となります。

【実施概要】

■施工日時:平成29年10月5日(木) 9:30～11:30

(当日9:00～17:00の時間帯において市道の一時通行止を実施)

※ 天候等により、施工が延期になる場合があります。

■施工場所:横浜市港北区大倉山3-15付近(詳細は別紙のとおり)

■設置期間:平成29年10月5日(木)～平成29年11月1日(水)(予定)

■主な対策内容:ハンプ2箇所、狭さく^{きょう}2箇所

※取材についてのお知らせ

- 1 当日は仮設ハンプの設置状況や設置後の車両の通行状況をご覧ください。
- 2 現地での取材を希望する場合は、前日迄に横浜市道路局道路部施設課へ電話連絡願います。
- 3 現地には報道関係者用の駐車場をご用意できませんので、公共交通機関でお越しいただくか、近隣の一般有料駐車場をご利用下さい。

発表記者クラブ

竹芝記者クラブ、神奈川建設記者会、横浜市政記者会、
神奈川県政記者クラブ、横浜ラジオ・テレビ記者会

問い合わせ先

【ビッグデータを活用した危険箇所の分析に関すること】

国土交通省 関東地方整備局 横浜国道事務所

副 所 長 中原 浩慈(なかはら こうじ) TEL 045-311-2981(代)

建設専門官 梶原 ちえみ(かじわら ちえみ)

【ハンプ及び狭さくの設置等に関すること】

横浜市役所 道路局 道路部

施設課長 桐山 大介(きりやま だいすけ) TEL 045-671-3557

生活道路の安全対策を行います

○現状

大倉山三丁目地区では、周辺の幹線道路を避けてエリア内をスピードを出して通過する車両が多く、ビッグデータ（ETC 2.0データ）の分析結果からも速度超過や急ブレーキの多発が確認されており、通勤・通学する方や地域のみなさまにとって危険な状況になっています。

▼現在の通行状況



スピードを出した車両と歩行者との錯綜

○取り組み内容:大倉山三丁目を対象に以下の対策を実施します。

① ハンプの設置(試行)

段差により、走行する車の速度の低減を図ります。

② 狭さく(試行)

幅員を狭めて、走行する車の速度の低減を図ります。



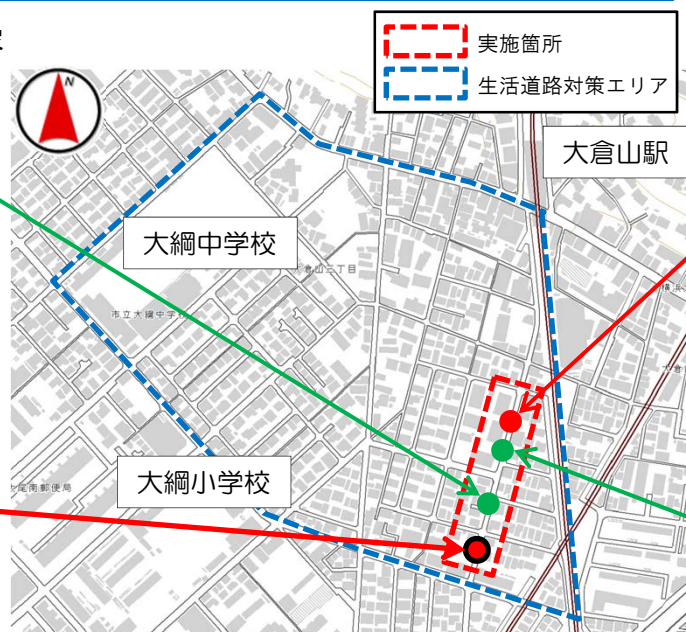
▼対策の実施箇所・内容

狭さく設置①イメージ



ハンプ設置①イメージ

横浜市港北区大倉山3-15付近
9:30~11:30施工予定箇所



この地図は、国土地理院の地理院地図に対策実施箇所等を追記して掲載したものである。

ハンプ設置②イメージ

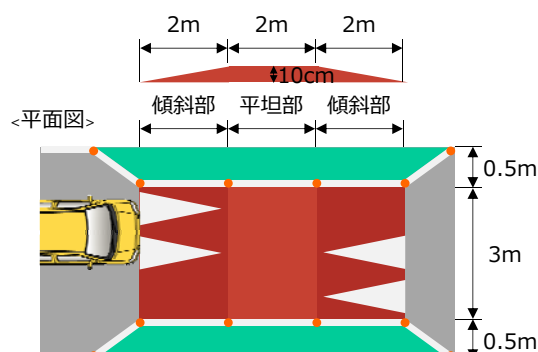


狭さく設置②イメージ



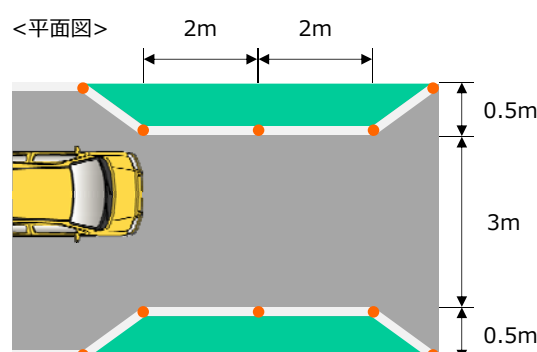
▼ハンプの概要

通行する自動車の速度を抑制するために道路上に設けられた台形状の段差。



▼狭さくの概要

通行する自動車の速度を抑制するために車両の通行部分の幅員を狭くしたもの。



におけるこれまでの取り組みと今後の流れ

大倉山三丁目地区 車両速度抑制対策検討会について

地域のみなさまと関係機関（警察、国土交通省、横浜市）で構成される検討会を設立しまして、課題の整理や対策方針について意見交換を行っています。これまで2回の検討会を実施しており、今後は今回の実証実験の結果を踏まえ、具体的な対策を検討する予定です。

検討会組織



▼検討会の様子



検討会の流れ

H29.2

第1回 検討会

- ・生活道路が抱える問題と背景
- ・神奈川県内の事故発生状況
- ・大豆戸町・大倉山周辺地区の事故発生状況
- ・大倉山三丁目地区の事故発生状況
- ・大倉山三丁目地区の急ブレーキ・速度（ETC2.0データ分析）
- ・大倉山三丁目地区の交通状況
- ・安全対策メニュー

H29.9

第2回 検討会

- ・車両速度抑制対策メニュー及び事例の紹介
- ・大倉山三丁目地区における車両速度抑制策（案）
- ・今後の予定
- ・ハンプ体験会の実施

H30.1
（予定）

第3回 検討会

- ・実証実験の結果、次年度にむけた取り組み

【実証実験と調査の内容】 実証実験は以下の流れで実施していきます。

事前調査

- ・速度調査
- ・交通挙動調査

9月下旬

実証実験 （今回実施）

- ・仮設ハンプ、
仮設狭さくの設置

実験の効果測定

- ・速度調査
- ・交通挙動調査
- ・アンケート調査

10月5日～11月1日（予定）

【今後の予定】

速度や交通挙動等を把握するための調査やアンケートを実施し、ハンプ・狭さくの効果を検証していきます。

【現地位置図】

- 集合場所
- 生活道路対策エリア



この地図は、国土地理院の地理院地図に
対策実施箇所等を追記して掲載したものである。

集合場所

横浜市港北区大倉山3-15付近
9:30～11:30 施工予定箇所



施工後イメージ

※取材についてのお知らせ

- 1 当日は仮設ハンプの設置状況や設置後の車両の通行状況をご覧いただく予定です。
- 2 現地での取材を希望する場合は、前日迄に横浜市道路局道路部施設課へ電話連絡願います。
- 3 現地には報道関係者用の駐車場をご用意できませんので、公共交通機関でお越しいただくか、近隣の一般有料駐車場をご利用下さい。